



No. 124

生命保険の世帯加入率は90.5%

加入目的の最多は「医療費や入院費」

生命保険文化センターは、一般家庭における生命保険の加入実態を中心に、生活保障に対する意識等を時系列的に把握して、その統計基礎資料を提供することを目的として、昭和40年以来3年に1回の割合で全国実態調査を行っています。

その最新版である「平成24年度生命保険に関する全国実態調査〈速報版〉」によると、生命保険の世帯加入率は全生保で90.5%と、前回(90.3%)から大きな変化はありません。世帯加入件数も全生保で4.1

件(前回4.2件)と、前回とほぼ同様ですが、世帯主の普通死亡保険金額は全生保で1,671万円(前回1,768万円)と前回に比べ97万円減少しました。加入金額減少の要因として、世帯年収の減少や相対的に加入金額の低い高年齢層世帯の増加、家族人数の減少などの変化が影響しているものと考えられます。

民保加入世帯(かんぽ生命を除く)における直近に加入した民保契約の加入年次をみると、「調査年度(平成24年)」6.2%、「調査年度の前年(平成23年)」12.2%、「調査年度の

2年前(平成22年)」9.8%となっており、最近3年間に加入した割合は28.2%となっています。なお、6年前以前に加入した割合は42.7%でした。

直近加入契約が平成19年以降の民保加入世帯(かんぽ生命を除く)について、加入目的をみると、「医療費や入院費のため」が59.6%(前回59.7%)と最も多く、次いで「万一のときの家族の生活保障のため」51.7%(前回53.8%)、「万一のときの葬式代のため」13.7%(前回13.1%)の順でした。

直近加入契約(民保)の加入目的(複数回答: %)

	医療費や入院費のため	障の万のた	万の万のた	て災の	老の老のた	た子の子のた	貯貯のた	介介のた	済済のた	万の万のた	税税のた	財財のた	考考のた	相相のた	土土のた	そそのた	不不明
平成24年調査 (平成19~24年に加入)	59.6	51.7	13.7	8.8	8.6	8.6	6.7	3.1	1.9	1.4	0.9	0.8	0.8	0.1	1.5	0.7	
平成21年調査 (平成16~21年に加入)	59.7	53.8	13.1	12.0	8.2	9.2	4.6	2.8	2.7	1.9	0.9	0.9	0.9	0.3	0.9	1.1	
平成18年調査 (平成13~18年に加入)	59.5	54.4	12.8	14.1	7.9	7.2	4.9	3.3	2.6	1.9	1.3	0.7	0.7	0.3	1.5	0.9	
平成15年調査 (平成10~15年に加入)	56.3	60.5	12.5	19.4	8.9	10.9	7.1	4.4	2.9	1.8	1.1	0.3	0.3	0.3	0.7	0.3	
平成12年調査 (平成7~12年に加入)	54.6	60.3	11.1	24.4	12.2	11.3	7.9	3.3	3.9	2.4	1.1	0.4	0.4	0.2	0.7	0.1	

※かんぽ生命を除く。

(生命保険文化センター「平成24年度 生命保険に関する全国実態調査」より)